

滋賀・関津遺跡

せきのつ

係が注目されている。また、鎌倉時代から室町時代にかけての掘立柱建物・井戸・土坑・溝なども検出している。

- 1 所在地 滋賀県大津市関津一丁目地先
2 調査期間 二〇〇四年（平16）一一月～二〇〇五年三月
3 発掘機関 滋賀県教育委員会・財滋賀県文化財保護協会
4 調査担当者 吉田秀則
5 遺跡の種類 集落跡

6 遺跡の年代 鎌倉時代～室町時代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

琵琶湖から流れ出る瀬田川沿いの東側の平野部、田

上地区の西南隅の水田地帯、大戸川との合流点の下流に位置する。



(京都東南部)

本遺跡では、二〇〇三年から県営圃場整備事業に伴う発掘調査を実施している。これまでに奈良時代の掘立柱建物と柵列などが検出され、多量の須恵器・土師器とともに綠釉陶器・墨書き器・円面硯・土馬などが出土しており、田上柿との関

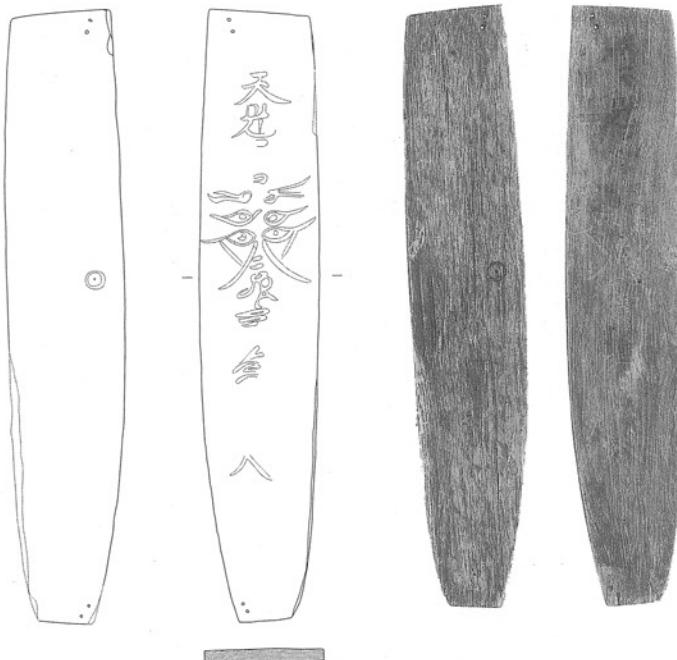
8 木簡の积文・内容

- (1) 「□天罡（符籙）（人面墨書）□□□□□」
「○」
〔刻書〕

307×59×7 051

上端は方頭で、下端は左右を斜めに削り先端を水平にカットしている。表面は、小刀などの加工痕が残る。表面には、墨書きあるいは墨書き痕が確認できるが、全体に著しい風化を受けている。裏面には、墨書きではなく、直径1cmの円と、その中心に点が刻まれている。表面からみて左寄りの上下両端に釘孔が二個一对で穿たれていることから、何らかの転用材が使われたものと思われる。

（吉田秀則）



木簡研究 第二六号

卷頭言—「全国木簡出土遺跡・報告書選」刊行に寄せて — 小林昌一

二〇〇三年出土の木簡	概要	平城京跡左京三条三坊十一坪	平城京跡右京北辺	平城京跡右
寺南方遺跡	寺南方遺跡	鳥羽遺跡	鳥羽離宮跡	藤原京跡
城跡	城跡	難波宮跡(1)	難波宮跡(2)	東福寺常樂庵庫裏
玉櫛遺跡	玉櫛遺跡	久宝寺遺跡	兵庫津遺跡	九頭神遺跡
城跡・伊丹郷町遺跡	城跡・伊丹郷町遺跡	明石城武家屋敷跡	玉津田中遺跡	奈良井遺跡
洲城下町遺跡	洲城下町遺跡	大毛沖遺跡	土橋遺跡	北村廃寺
佐助ヶ谷遺跡	佐助ヶ谷遺跡	水戸藩徳川家小石川屋敷跡	対中遺跡	有岡寺清永福寺
旗本岩瀬家屋敷跡	旗本岩瀬家屋敷跡	(新諭訪町遺跡)	入佐川遺跡	飛鳥寺鳥
No.68 遺跡	馬場下町遺跡	元町二丁目遺跡	神明遺跡	中世勝龍寺
一九地点	松本城下町跡六九	松本城下町跡六九	北島遺跡	北島遺跡
田目条里制遺構跡	田目条里制遺構跡	東高久遺跡	荒井猫田遺跡	第4地點
仙台城跡(二の丸地区)	仙台城跡(二の丸地区)	東門久遺跡	河井遺跡	第5地點
跡 古志田東遺跡	跡 古志田東遺跡	市川橋遺跡	長徳寺前遺跡	第6地點
遺跡 観音堂遺跡	遺跡 観音堂遺跡	大在家遺跡	市川橋遺跡	第7地點
目遺跡	目遺跡	山形城跡	龍門寺茶畠遺跡	第8地點
通業務団地No.21	通業務団地No.21	新谷地遺跡	本町一丁目遺跡	第9地點
金石本町遺跡	金石本町遺跡	津軽氏城跡	井口城跡	第10地點
(K.G.O.七地点)	(K.G.O.七地点)	弘前城跡	石名田木舟遺跡	第11地點
橋	橋	長門國分寺跡	井口城跡	第12地點
米子城跡	米子城跡	周防國府跡	鹿田遺跡	第13地點
才ノ崎遺跡	才ノ崎遺跡	周防國府跡	尾道遺跡	第14地點
柏町遺跡	柏町遺跡	高松城跡(2)	願海寺城跡	第15地點
(長崎奉行所立山役所跡)	(長崎奉行所立山役所跡)	(九ノ内地区)	高松城跡(3)	第16地點
一九七七年以前出土の木簡(二六)	の内地区	高松城跡(2)	高松城跡(1)	第17地點
積文の訂正と追加(七)	ノ丸地区	高松城跡(2)	高松城跡(1)	第18地點
山田寺跡(第五・一二・一三号)	屋敷跡	高松城跡(3)	高松城跡(1)	第19地點
弥勒寺西遺跡(第二五号)	雨雀遺跡群	在自西	高松城跡(3)	第20地點
中央アジア出土のチベット語木簡	小倉城跡	後後遺跡	高松城跡(1)	第21地點
出土の木簡(二六)	北島北遺跡	牟田口遺跡	高松城跡(1)	第22地點
新刊紹介	平川南著「古代地方木簡の研究」	炉中火	高松城跡(1)	第23地點
木簡学会編「日本古代木簡集成」	武田宏和人・武内紹人	桑原祐子亮	高松城跡(1)	第24地點
頒佈	竹内和己	武田和哉之子亮	高松城跡(1)	第25地點
五五〇〇円	桑原祐子亮	高松城跡(1)	高松城跡(1)	第26地點
書評	高松城跡(1)	高松城跡(1)	高松城跡(1)	第27地點
平川南著「古代地方木簡の研究」	高松城跡(1)	高松城跡(1)	高松城跡(1)	第28地點
新刊紹介	高松城跡(1)	高松城跡(1)	高松城跡(1)	第29地點
木簡学会編「日本古代木簡集成」	高松城跡(1)	高松城跡(1)	高松城跡(1)	第30地點
頒佈	高松城跡(1)	高松城跡(1)	高松城跡(1)	第31地點
五五〇〇円	高松城跡(1)	高松城跡(1)	高松城跡(1)	第32地點
送料	高松城跡(1)	高松城跡(1)	高松城跡(1)	第33地點
六〇円	高松城跡(1)	高松城跡(1)	高松城跡(1)	第34地點
円哉之子亮	高松城跡(1)	高松城跡(1)	高松城跡(1)	第35地點

木に記された暦—石神遺跡出土木具注暦木簡をめぐつて
文字の形と語の識別—「参」の二つの字形
書評 平川南著「古代地方木簡の研究」

中央アジア出土のチベット語木簡—その特徴と再利用—
新刊紹介 木簡学会編「日本古代木簡集成」

頒佈 五五〇〇円

送料 六〇円

円哉之子亮